

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大川看護福祉専門学校
設置者名	学校法人高木学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護学科	夜・通信	1,710 時間	240 時間	
		夜・通信			
社会福祉専門課程	介護福祉学科	夜・通信	1,230 時間	160 時間	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HOME > 学校紹介 > 情報公開 に公表 <a href="https://ohkawa.takagigakuen.ac.jp/about/information/">https://ohkawa.takagigakuen.ac.jp/about/information/</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

## 様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大川看護福祉専門学校
設置者名	学校法人高木学園

### 1. 理事（役員）名簿の公表方法

HOME > 学校紹介 > 情報公開 「理事名簿一覧」に公表  
<https://ohkawa.takagigakuen.ac.jp/about/information/>

### 2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	国立大学法人総長	H30.6.1 ～R2.5.31	組織運営体制の チェック機能
非常勤	他の学校法人理事	H29.9.29 ～R2.5.31	組織運営体制の チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名（学部等名）	大川看護福祉専門学校
設置者名	学校法人高木学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>学科・学年・教科ごとに授業計画(シラバス)を作成 シラバス記載事項 教育理念・教育目的・教育目標・教育課程の概要、臨地実習の目的・目標、授業科目及び単位数・時間数年度教育計画・教課外活動担当講師一覧・年間教育計画 各科目のシラバス記載事項 ・科目名・授業の種類(講義・演習・実習)・授業担当者(実務経験の有無)・授業回数・時間数(単位数)・配当学年(時期)・曜日時限・必修又は選択の別・[授業の目的・ねらい]・[授業終了時の達成課題(達成目標)]・[授業全体の内容の概要]・[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]・[使用テキスト・参考文献]・[単位認定の方法及び基準①出席率 ②授業態度・グループ活動への参加度、貢献度 ③レポート提出率と内容 ④終講試験 等の総合評価] 学科・学年ごとにシラバスの冊子を作成し、毎年4月に学生に配布しオリエンテーションを実施。</p>	
授業計画の公表方法	<p>HOME ) 学校紹介 ) 情報公開 に公表 <a href="https://ohkawa.takagigakuen.ac.jp/about/information/">https://ohkawa.takagigakuen.ac.jp/about/information/</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学生の単位認定及び卒業に関する事項を審議するために、単位認定・卒業判定会議を置く。単位認定・卒業判定会議は、学科長がその必要に応じて、校長の許可を得て開催する。また単位認定に関して履修規程を定め学生便覧にて学生に周知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業科目ごとに出欠席をとり、15分以上を1時間、60分以上を2時間の欠課とする。臨地実習の科目は15分以上を1時間の欠課とする。</li> <li>・単位認定は、学科試験(演習・学内実習を含む)と臨地実習の成績による。ただし、出席状況・平素の学習状況を考慮することができる。</li> <li>・臨地実習を除く科目について、各科目の出席時間数が当該科目の時間数の3分の2に満たない場合は、受験資格を失うものとする。</li> <li>・臨地実習の科目について、各科目の出席時間数が当該科目の時間数の5分の4に満たない場合は、実習の評価を受ける資格を失うものとする。</li> <li>・病気その他やむを得ない理由により学科試験を受けることのできなかつた者については、追試験を受けることができる。</li> <li>・授業科目及び臨地実習の評価において、合格できなかつた者は、再試験ならびに再実習を受けることができる。</li> <li>・教育課程における授業科目(臨地実習を含む)において、次の学年の学修に支障を与える科目を履修できなかつた者及び必要な単位数を修得できなかつた者は、必要に応じて原学年に必要な授業科目を再履修しなければならない。</li> </ul>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) (授業科目の成績評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価は点数で行うが、成績通知は評点又は、A・B・C・Dで表記する。</li> <li>・成績評価は、次の基準によるものとする。 A (100～80点) B (79～70点) C (69～60点) D (60点未満)</li> <li>・C評価以上を合格とし、D評価を不合格とする。</li> <li>・受験中に不正行為を行った者は、その当該科目を不合格とする。 病気、その他やむを得ない理由により学科試験を受けることのできなかった者に対して、追試験を行うことができる。学科試験で合格点に満たない者(追試験で合格点に満たない者を含む)に対して再試験を行うことができる。</li> </ul> <p>(臨地実習の評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習評価表に基づいて行い、成績通知は評点又は、A・B・C・Dで表記する。</li> <li>・成績評価は、次の基準によるものとする。 A (100～80点) B (79～70点) C (69～60点) D (60点未満)</li> <li>・C評価以上を合格とし、D評価を不合格とする。</li> <li>・当該実習の評価が不合格者は、所定の手続を経て再実習を行うことができる。</li> </ul> <p>履修全科目の点数での成績を合計し、合計点の平均を算出する。 (100点満点での点数化) これにより全体の中での、下位1/4に該当する成績者を管理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学則および履修規程は、「学生便覧」の冊子に記載、毎年4月に担任より学生へ配付しオリエンテーションを実施。</li> </ul>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	HOME > 学校紹介 > 情報公開 に公表 <a href="https://ohkawa.takagigakuen.ac.jp/about/information/">https://ohkawa.takagigakuen.ac.jp/about/information/</a>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の単位認定及び卒業に関する事項を審議するために、単位認定・卒業判定会議を置く。単位認定・卒業判定会議は、学科長がその必要に応じて、校長の許可を得て開催する。</li> <li>・校長は学則第19条に定める授業科目及び単位数を修得した者について、単位認定・卒業判定会議を経て卒業を認定する。</li> <li>・医療専門課程看護学科を修了した者には専門士(医療専門課程)を、社会福祉専門課程介護福祉学科を修了した者には専門士(社会福祉専門課程)の称号を授与する。</li> <li>・看護学科を卒業した者には看護師国家試験及び保健師・助産師学校の受験資格を取得することができる。</li> <li>・介護福祉学科を卒業した者は、介護福祉士国家試験の受験資格を取得することができる。</li> <li>・学則および履修規程は、「学生便覧」の冊子に記載、毎年4月に担任より学生へ配付しオリエンテーションを実施。</li> </ul>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	HOME > 学校紹介 > 情報公開 に公表 <a href="https://ohkawa.takagigakuen.ac.jp/about/information/">https://ohkawa.takagigakuen.ac.jp/about/information/</a>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大川看護福祉専門学校
設置者名	学校法人高木学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	現在は学校に財務諸表冊子を備え付けている。 HOME > 学校紹介 > 情報公開 に公表 <a href="https://ohkawa.takagigakuen.ac.jp/about/information/">https://ohkawa.takagigakuen.ac.jp/about/information/</a>
収支計算書又は損益計算書	//
財産目録	//
事業報告書	//
監事による監査報告（書）	//

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門	看護	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3075時間/98単位 単位時間/単位	1,450 時間	725 時間	900 時間	0時間	0時間
	夜		3,075時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		123人	0人	8人	41人	49人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

学科・学年・教科ごとに授業計画（シラバス）を作成

シラバス記載事項

教育理念・教育目的・教育目標・教育課程の概要、臨地実習の目的・目標、授業科目及び単位数・時間数年度教育計画・教課外活動担当講師一覧・年間教育計画

各科目のシラバス記載事項

・科目名・授業の種類（講義・演習・実習）・授業担当者（実務経験の有無）・授業回数・時間数（単位数）・配当学年（時期）・曜日時限・必修又は選択の別・〔授業の目的・ねらい〕・〔授業終了時の達成課題（達成目標）〕・〔授業全体の内容の概要〕・〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕・〔使用テキスト・参考文献〕・〔単位認定の方法及び基準①出席率 ②授業態度・グループ活動への参加度、貢献度③レポート提出率と内容 ④終講試験 等の総合評価〕

公表について

学科・学年ごとにシラバスの冊子を作成し学生に毎年4月に配布し、オリエンテーシ

ョンを実施。今年度末までに本校ホームページで公表を予定している。

HOME ) 学校紹介 ) 情報公開 に公表

<https://ohkawa.takagigakuen.ac.jp/about/information/>

#### 成績評価の基準・方法

##### (概要)

- 学生の単位認定及び卒業に関する事項を審議するために、単位認定・卒業判定会議を置く。単位認定・卒業判定会議は、学科長がその必要に応じて、校長の許可を得て開催する。また単位認定に関して履修規程を定め学生便覧にて学生に周知する。
- ・授業科目ごとに出欠席をとり、15分以上を1時間、60分以上を2時間の欠課とする。臨地実習の科目は15分以上を1時間の欠課とする。
  - ・単位認定は、学科試験（演習・学内実習を含む）と臨地実習の成績による。ただし、出席状況・平素の学習状況を考慮することができる。
  - ・臨地実習を除く科目について、各科目の出席時間数が当該科目の時間数の3分の2に満たない場合は、受験資格を失うものとする。
  - ・臨地実習の科目について、各科目の出席時間数が当該科目の時間数の5分の4に満たない場合は、実習の評価を受ける資格を失うものとする。
  - ・病気その他やむを得ない理由により学科試験を受けることのできなかった者については、追試験を受けることができる。
  - ・授業科目及び臨地実習の評価において、合格できなかった者は、再試験ならびに再実習を受けることができる。
  - ・教育課程における授業科目（臨地実習を含む）において、次の学年の学修に支障を与える科目を履修できなかった者及び必要な単位数を修得できなかった者は、必要に応じて原学年に必要な授業科目を再履修しなければならない。
  - ・学則および履修規程は、「学生便覧」の冊子に記載、毎年4月に担任より学生へ配付しオリエンテーションを実施。

HOME ) 学校紹介 ) 情報公開 に公表

<https://ohkawa.takagigakuen.ac.jp/about/information/>

#### 卒業・進級の認定基準

##### (概要)

- ・学生の単位認定及び卒業に関する事項を審議するために、単位認定・卒業判定会議を置く。単位認定・卒業判定会議は、学科長がその必要に応じて、校長の許可を得て開催する。
- ・校長は学則第19条に定める授業科目及び単位数を修得した者について、単位認定・卒業判定会議を経て卒業を認定する。
- ・医療専門課程看護学科を修了した者には専門士（医療専門課程）を、社会福祉専門課程介護福祉学科を修了した者には専門士（社会福祉専門課程）の称号を授与する。
- ・看護学科を卒業した者には看護師国家試験及び保健師・助産師学校の受験資格を取得することができる。
- ・介護福祉学科を卒業した者は、介護福祉士国家試験の受験資格を取得することができる。
- ・学則および履修規程は、「学生便覧」の冊子に記載、毎年4月に担任より学生へ配付しオリエンテーションを実施。

HOME ) 学校紹介 ) 情報公開 に公表

<https://ohkawa.takagigakuen.ac.jp/about/information/>

学修支援等			
(概要)			
<p>・学生一人ひとりの学習効果を向上させること、コミュニケーション能力を向上させ、人間関係を培うことを目的として、学年横断のチューター制度を導入している。学年間の交流を通し、看護技術や学習面で困ったこと、悩みなどあれば上級生や教員が相談に応じる。また各チューターグループの担当教員は国家試験合格に向けてのサポートを行う。またホームルームや個人面談を通して適宜助言・指導を行う。</p>			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
38人 (100%)	2人 (5.3%)	35人 (92.1%)	1人 (2.6%)
(主な就職、業界等)			
病院、診療所などの医療機関（看護師）			
(就職指導内容)			
就職説明会の開催、研修旅行の実施、マナー研修の実施、個別相談			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
看護師国家試験受験資格、保健師・助産師養成校受験資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
123人	3人	2.4%
(中途退学の主な理由)		
進路変更、勉学意欲喪失		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
担任制をとり遅刻・欠席が多い学生は個別面談・保護者面談を実施している。またスクールカウンセラーを配置し対応している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
福祉	社会福祉専門	介護福祉	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1980時間/61単位 単位時間/単位	1,240 時間	290 時間	450 時間	0時間	0時間
			1,980時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	23人	4人	4人	11人	15人		

<p>カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）</p> <p>（概要）</p> <p>学科・学年・教科ごとに授業計画（シラバス）を作成 シラバス記載事項</p> <p>教育理念・教育目的・教育目標・教育課程の概要、臨地実習の目的・目標、授業科目及び単位数・時間数年度教育計画・教課外活動担当講師一覧・年間教育計画 各科目のシラバス記載事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・科目名・授業の種類（講義・演習・実習）・授業担当者（実務経験の有無）・授業回数・時間数（単位数）・配当学年（時期）・曜日時限・必修又は選択の別・〔授業の目的・ねらい〕・〔授業終了時の達成課題（達成目標）〕・〔授業全体の内容の概要〕・〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕・〔使用テキスト・参考文献〕・〔単位認定の方法及び基準①出席率 ②授業態度・グループ活動への参加度、貢献度 ③レポート提出率と内容 ④終講試験 等の総合評価〕</li> </ul> <p>公表について</p> <p>学科・学年ごとに冊子を作成し学生に配布。 HOME 〉学校紹介 〉情報公開 に公表 <a href="https://ohkawa.takagigakuen.ac.jp/about/information/">https://ohkawa.takagigakuen.ac.jp/about/information/</a></p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <p>学生の単位認定及び卒業に関する事項を審議するために、単位認定・卒業判定会議を置く。単位認定・卒業判定会議は、学科長がその必要に応じて、校長の許可を得て開催する。また単位認定に関して履修規程を定め学生便覧にて学生に周知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業科目ごとに出欠席をとり、15分以上を1時間、60分以上を2時間の欠課とする。臨地実習の科目は15分以上を1時間の欠課とする。</li> <li>・単位認定は、学科試験（演習・学内実習を含む）と臨地実習の成績による。ただし、出席状況・平素の学習状況を考慮することができる。</li> <li>・臨地実習を除く科目について、各科目の出席時間数が当該科目の時間数の3分の2に満たない場合は、受験資格を失うものとする。</li> <li>・臨地実習の科目について、各科目の出席時間数が当該科目の時間数の5分の4に満たない場合は、実習の評価を受ける資格を失うものとする。</li> <li>・病気その他やむを得ない理由により学科試験を受けることのできなかつた者については、追試験を受けることができる。</li> <li>・授業科目及び臨地実習の評価において、合格できなかつた者は、再試験ならびに再実習を受けることができる。</li> <li>・教育課程における授業科目（臨地実習を含む）において、次の学年の学修に支障を与える科目を履修できなかつた者及び必要な単位数を修得できなかつた者は、必要に応じて原学年に必要な授業科目を再履修しなければならない。</li> </ul> <p>公表について</p> <p>HOME 〉学校紹介 〉情報公開 に公表 <a href="https://ohkawa.takagigakuen.ac.jp/about/information/">https://ohkawa.takagigakuen.ac.jp/about/information/</a></p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の単位認定及び卒業に関する事項を審議するために、単位認定・卒業判定会議を置く。単位認定・卒業判定会議は、学科長がその必要に応じて、校長の許可を得て開催する。</li> </ul>



- ・校長は学則第 19 条に定める授業科目及び単位数を修得した者について、単位認定・卒業判定会議を経て卒業を認定する。
- ・医療専門課程看護学科を修了した者には専門士（医療専門課程）を、社会福祉専門課程介護福祉学科を修了した者には専門士（社会福祉専門課程）の称号を授与する。
- ・看護学科を卒業した者には看護師国家試験及び保健師・助産師学校の受験資格を取得することができる。
- ・介護福祉学科を卒業した者は、介護福祉士国家試験の受験資格を取得することができる。

公表について

HOME > 学校紹介 > 情報公開 に公表

<https://ohkawa.takagigakuen.ac.jp/about/information/>

学修支援等

(概要)

- ・担任制をとる。ホームルームや個人面談を通して、個々の学生の状況を把握し助言・指導を行う。個別指導の他に家族との連絡調整や必要に応じて三者面談等を行いながら対応している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17 人 (100%)	0 人 (%)	17 人 (100%)	0 人 (%)

(主な就職、業界等)

介護老人保健施設や障がい者支援施設など（介護福祉士）

(就職指導内容)

就職説明会の開催、研修旅行の実施、マナー研修の実施、個別相談

(主な学修成果（資格・検定等）)

介護福祉士国家試験受験資格

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28 人	2 人	7.1%

(中途退学の主な理由)

進路変更、勉学意欲喪失

(中退防止・中退者支援のための取組)

担任制をとり遅刻・欠席が多い学生は個別面談・保護者面談を実施している。またスクールカウンセラーを配置し対応している。

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考
看護	250,000 円	600,000 円	200,000 円	
介護福祉	50,000 円	500,000 円	150,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 点検・評価は、「専門学校等評価基準 Ver4.0 (点検基準項目 10、中項目 37、小項目 65)」を使用し、教職員で行う。報告書の内容は、小中項目における「考え方・方針・目標」、「現状・具体的な取り組み」、「課題と解決方向」、「参考資料」の点検結果を踏まえた基準項目の総括と特記事項の公表とする。平成 28 年～平成 30 年度の過去 3 ヶ年公表について HOME ) 学校紹介 ) 情報公開 に公表 <a href="https://ohkawa.takagigakuen.ac.jp/about/information/">https://ohkawa.takagigakuen.ac.jp/about/information/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 現時点では学校関係者評価は実施できておらず、今後 2020 年 3 月までに学校関係者評価結果を公表できる体制を構築する準備をしている。一般企業の役員、在校生の保護者代表、卒業生等を含めた評価委員会を構成し、学校の課題や現状の取り組み・今後の取組等について具体的な内容に沿った評価をお願いし、学校運営の改善に取り組んでいく。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
2020 年度から評価を実施公表するために委員の専任を行う。		
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020 年度から評価を確実に実施し、本校のホームページに公表する。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://ohkawa.takagigakuen.ac.jp/">https://ohkawa.takagigakuen.ac.jp/</a> パンフレット・学生募集要項は資料請求者に無料で配布 資料請求先 <a href="mailto:infookfs@takagigakuen.ac.jp">infookfs@takagigakuen.ac.jp</a>
---